

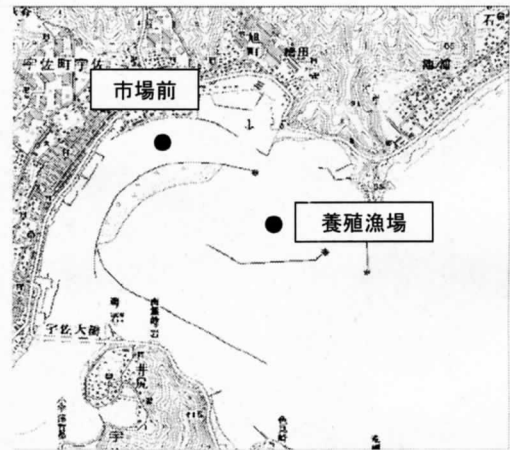
環境調査結果のお知らせ

本日午前、宇佐漁港周辺のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

採水サンプルを検鏡した結果、有害種のカレニア・ミキモイが最高で21cells/ml、シャットネラ属が最高で19cells/ml認められました。浦ノ内湾内は、広範囲でカレニア・ミキモイとシャットネラ属による着色がみられており、降雨等による増殖や潮流等により拡大する恐れがあります。海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ミキモイ	シャットネラ属
市場前	0m	21	19
	2m	4	2
養殖漁場	0m	0	0
	2m	0	0
(参考) 光松	0.5m	300	3,200
	2m	1,840	300
(参考) 大鹿	0m	40	335
	2m	500	370
(参考) 水試小割前	0m	0	17
	2m	0	49



漁業被害が想定される細胞密度
 レニア・ミキモイ
 数百～5,000cells/ml(魚類などのへい死)
 シャットネラ属:
 0～100cells/ml(魚類のへい死)